

2026年3月25日

2026年度 東京ガスグループ経営計画について

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一）は、2026年度東京ガスグループ経営計画を決定しました。

2026年度は、東京ガスグループにとって「2026-2028年度 中期経営計画」*1の初年度にあたります。最重要指標であるROEをはじめとした2028年度における諸目標の達成に向けて、2026年度は着実なセグメント利益の成長を実現していきます。

*1：東京ガスグループ 2026-2028年度 中期経営計画（2025年10月29日発表）

1. 2026年度収支計画について

2026年度は、セグメント利益(営業利益+持分法損益)1,950億円、当期純利益1,340億円、ROE8.0%、ROIC4.8%を計画しています。

収支計画	連結	(参考)
	2026年度計画	2025年度見通し
売上高	28,100億円	28,900億円
営業利益	1,860億円	1,850億円
セグメント利益	1,950(2,032* ²)億円	1,876(2,241* ³)億円
タイムラグ影響* ⁴ 除く	1,852(1,934* ²)億円	1,663(2,028* ³)億円
経常利益	1,730億円	1,710億円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,340億円	1,940億円
ROE	8.0%	11.4%
ROIC	4.8%* ²	5.5%* ³

<セグメント利益について>

セグメント利益	連結	(参考)
	2026年度計画	2025年度見通し
エネルギー・ソリューション	1,409億円	1,431億円
タイムラグ影響* ⁴ 除く	1,311億円	1,218億円
ネットワーク	5億円	5億円
海外	769億円	700億円
都市ビジネス	180(262* ²)億円	82(447* ³)億円
調整額	▲413億円	▲342億円
セグメント利益合計額	1,950(2,032* ²)億円	1,876(2,241* ³)億円

*2：2026年度計画（）カッコ内およびROICは、営業外・特別損益に計上想定固定資産売却損益（不動産）82億円を含めた金額。

*3：2025年度見通し（）カッコ内およびROICは、営業外・特別損益に計上想定固定資産売却損益（不動産）365億円を含めた金額。

*4：タイムラグ影響：2026年度計画98億円、2025年度見通し213億円。

■2026年度の前提：

原油価格 68 ドル/bbl、為替レート 155 円/ドル、ヘンリーハブ価格（海外・シェールガス事業）3.8 ドル/MMBtu

2. ガス販売量・電力販売量について

2026年度は、連結のガス販売量で10,790百万m³、電力販売量で28,490百万kWhを計画しています。

ガス販売量・電力販売量	連結	(参考)
	2026年度計画	2025年度見通し
ガス販売量 (45MJ/m ³ 換算)	10,790 百万m ³	11,258 百万m ³
家庭用	2,704 百万m ³	2,741 百万m ³
その他	8,086 百万m ³	8,517 百万m ³
電力販売量	28,490 百万kWh	28,328 百万kWh

3. 投資計画について

2026年度は、連結で4,777億円の投資を計画しています。なお、投融資回収、資産売却によるキャッシュイン(簿価相当)を控除した投資合計は4,145億円を計画しています。「2026-2028年度 中期経営計画」で示した戦略に沿い、利益成長、資本効率向上、安定的収益基盤の維持に必要な投資の厳選と資産の入替を実行します。

投資計画	連結	(参考)
	2026年度計画	2025年度見通し
設備投資	3,860 億円	3,140 億円
投融資	917 億円	464 億円
合計	4,777 億円	3,604 億円
合計 (投融資回収・資産売却 控除後)	4,145 億円	3,060 億円

東京ガスグループは、創立140周年を迎えました。東京を越え、ガスを越え、未来を先取りする企業として挑戦を進めていきます。

以上